

カタリナ

学報

第24号

St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部



2010.5.29

聖カタリナ大学第23回

聖カタリナ大学短期大学部第45回 入学式式辞

学長 ホビノ・サンミゲル



春の季節は若さにたとえられます。春は愛と希望と命のシンボルであるとも言われています。厳しい冬の季節が終わり、自然界は装いも新たに、色とりどりの花が咲き、その生命力は私たちの人生に、温かさと喜びを与えてくれます。日本の春の象徴として、そして美しい日本文化の象徴として全世界に伝えられている桜の花は、春を迎えた私たちの心に、喜びと癒しを与えてくれます。このような春の雰囲気の中で、本日、289人の若者が、大きな希望をもって、自分が描いた人生の夢を実現するための準備を、本学でスタートさせようとしています。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、新入生と共に、dual degreeを目指して、韓国姉妹校であるウソン大学と国際大学から入学した留学生を歓迎したいと思います。お互いの文化の交流を通じて、私たちの心がますます豊かになることを期待しています。

ご来賓の皆様には、ご多忙にもかかわらず、このよき日の喜びを私たちと共に祝うためにご列席くださいまして、心よりお礼申し上げます。

そして、保護者の皆様、本日はおめでとうございます。今日までの長い間、この若者たちを支えてくださいましたことを感謝いたします。

新入生の皆さん、私たちのいのちはすばらしいものです。人にとって、いのちは最も大切な宝物です。私たちは生きているからこそ、世界を見ることができるし、この世の中に存在しているすべてのものを享受することができるので。自然環境、社会、家族、友人は、私たちのいのちの一部であり、共に人生

を過ごすのです。

しかし、私たちが生まれたときに授かったいのちは、完成されたものではありません。それは、私たちが、自分自身で磨いていかなければならないものです。生きている間に、完全で、幸福ないのちを完成させることは、人間にとって最大の課題であり、また最も大切な仕事です。

私たちのいのちを完成させるために、高等教育は大きな役割を果たします。人間は高い教育を受けることによって、すばらしい知恵を獲得し、豊かな人格をつくっていくことができるからです。21世紀、人類は、質の良い教育を受け、優れた知識をもち、それをもとに豊かな生活をおくる人と、そうでなかつたために、貧しい生活をおくる人とに分かれていきます。教育はよりよい人格の確立と、社会を建設するための大きな力を持っています。

皆さん、自分のいのちは、自分自身で育てていかなければならぬことを意識してください。それは私たちの一人ひとりの仕事です。私たちはその仕事を全うするため、言い換えれば、すばらしい人生を送るために、良い心と豊かな知識を獲得する必要があります。心を磨くためには、精神的な価値を身につけることが必要です。そして、豊かな知識を得るために、学問に取り組む姿勢を整えることが必要です。

今日から皆さんのがこのキャンパスで学ぶことは、専門知識だけではありません。大きな心、思いやりの心を持つこと、さらには、正しい判断ができる知恵を習得することをも学ばねばなりません。そして

その目標に向かって、充実した学生生活を送っていただきたいのです。皆さんのが生まれたとき、神からすばらしい能力をいただきました。その能力を伸ばさなければなりません。そうすることによって、皆さんは質の高い人生をおくることができます。そして皆さんのが手で、平和と正義のある、よりよい社会を建設するのです。

先ほど聖書の「知恵の書」から朗読がありました。知恵は世界に存在しているすべてのものよりも大切であると聖書は述べています。また知恵を得ることによってますます神に近づき、喜びの生活を送ることができると主張しています。また、聖書の別の個所、「創世記」には、神は人間を自分に似せてつくり、良い心と知識を与えてくれたと書かれています。人間の知恵は、自分の力だけではなく、神の力によって得られるものです。聖書にある知恵とは、科学と技術の知恵だけではなく、神からくる知恵も含んでいるのです。

皆さん、その知恵を得るために努力してください。本学はキリスト教と聖ドミニコの大学として、聖書に書かれている、最高の知恵を教育するために、大きな努力をしています。

本学が柱のひとつとしているキリスト教の精神は、ただ単に専門知識を与えるだけではなく、人間の精神的な面を養うことで、豊かな人格を形成することを助けます。知的に磨かれるだけでなく、よい心をつくることによって、平和と喜びの社会をつくることができると、私たちは信じています。

本学はまた、聖ドミニコ修道会の大学として、修道会によって定められた建学の精神に基づいて教育を与えています。本学の建学の精神は「愛と真理」です。聖ドミニコ修道会は今から約800年前に、南フランスで聖ドミニコによって設立されました。聖ドミニコはキリスト的な愛と真理が、人々に喜びと救いを与えることを信じて、それを多くの人々に伝える使命を抱きました。そのときから修道会は、全世界に広がっていき、多くの大学、研究所、教育機関を運営してきました。それらを通じて多くの聖人や世界的な学者、社会のリーダーを輩出してきました。中でも、歴史上最高の神学者と称される、聖トマス・アクィナス、歴史上最も大きな働きをした女性で、本学の保護者でもあるシエナの聖カタリナは特筆すべき存在です。私たちはその偉大な先人にならって、聖ドミニコ修道会の、学問に対する伝統を守っていかなければならないのです。

本学は、聖ドミニコ修道会の国際的な精神に立脚

し、5つの大陸に40以上の姉妹校があります。その中にはアジアで最も古い大学である、フィリピンのマニラにある聖トマス大学も含まれています。聖トマス大学は来年、創立400年になります。約5万人の学生を持つ、カトリック大学としては世界で最も大きな大学です。皆さんにはこの、聖トマス大学を始め、多くの姉妹校へ留学するチャンスも開かれていています。ぜひ、留学を通じて国際的な精神と文化の交流を果たしていただきたいと、私は望んでいます。

みなさん、大学生としての貴重な時間を無駄にしないでください。本学は美しい自然環境の中であり、キャンパスには家庭的な雰囲気があります。学問と友情、豊かな人格を育てるのに、とてもふさわしい場所です。どうか古い伝統と国際的な精神を持っている本学に入学したことを誇りに思い、楽しい学生生活を送ってください。

皆さんのが本学での学びを通じて、愛と真理の人になるように、心から祈っています。



◆◇ St. Catherine News ◇◆

●大学基準協会・短期大学 基準協会による認証評価結果

平成22年3月12日 聖カタリナ大学は、(財)大学基準協会の定める大学基準に適合していると認定されました。

平成22年3月19日 聖カタリナ大学短期大学部は、(財)短期大学基準協会による第三者評価の結果、適格と認定されました。

大学基準協会・適合認定



短期大学基準協会・適格認定



●平成22年度後援会奨励表彰



5月13日(木)、母をたたえる日の行事に併せ、若江後援会長から後援会奨励金の授与が行われました。この奨励制度は、在学生の学業成績優秀者に後援会から奨励金を授与し、さらなる勉学への励みとしてもらうためのものです。今年度の表彰者は上記の皆さんです。

◆◇ 人 事 ◇◆

《平成22年3月31日付け》

【退職】

人間健康福祉学部
教授 小嶋 裕
講師 大槻 穀
" 佐々木 隆夫

健康栄養学科
教授 遠藤 章二
准教授 門多 和広
" 酒井 宗代
" 関根 仁市
" 宮崎 広子
講師 小笠原 由美子
" 田中 ツネ子
助手 川端 和子
" 白石 賀子
会計課
管理係長
教務課
事務職員

学生支援課

事務職員(非) 藤井 弥生
" 佐伯 亜子

総務課

技術職員(非) 川本 宏子
" 村上 明子

《平成22年4月1日付け》

【新規採用】

人間健康福祉学部
教授 矢島 伸浩
講師 丸山 祐司
助教 大西 史晃
入試広報課
事務職員 門多 和広
教務課
事務職員 小笠原 由美子
" (非) 田原 美貴
総務課
技術職員(非) 白石 直美
" (非) 丸山 恵理

技術職員(非) 萩山 朋子
" (非) 杉浦 知子

【昇任】

人間健康福祉学部
准教授 佐々木 裕子
講師 中村 年男
" 岩満 賢次

学生支援課
係長 山本 直樹

教務課
主任 中武 勇人

会計課
主任 宮崎 和典

【配置換】

学生支援課
課長補佐 宮田 和美
会計課
事務職員 山内 理恵子
就職課
事務職員 重松 映美

◆◇ 平成 21 年度後期行事 (H21.10.1 ~ H22.3.31) ◇◆

月	日	曜	区	行 事
10	2	金	大	まつやまシニアカレッジ
		大	教授会、大学評議会委員会	
		大	精神保健福祉士国試対策講座[4回生]	
4	日	大	社会福祉士、精神保健福祉士国試対策講座[4回生]	
7	水	大	FD委員会	
9	金	研究紀要編集委員会		
		大	人事委員会	
		大	精神保健福祉士国試対策講座[4回生]	
10	土	大	入試・募集委員会	
		大	AO入試面接	
		短	編入学試験(一般 I ・ 指定校推薦・提携校推薦)	
		AO入試面接		
13	火	大	大学評議会実地視察	
		短	教授会・入試・募集委員会部会	
14	水	理事長講話		
		人間文化研究所フォーラム		
		大	人事委員会、判定教授会	
16	金	大	まつやまシニアカレッジ	
		大	就職委員会大学部会	
		短	保育学科会議	
17	土	平澤・カタリナ交流フォーラム		
		大	社会福祉士、精神保健福祉士国試対策講座[4回生]	
18	日	大	社会福祉士国試対策講座[3・4回生]	
28	水	キリスト教研究所フォーラム		
30	金	まつやまシニアカレッジ		
		キャネット運営委員会、ボランティアセンター運営委員会		
31	土	短	推薦入試(指定校、専願、スポーツ) 社会人入試1期 奨学生選考面接	
11	2	月	奨学生選考委員会	
		大	経済支援学生選考委員会	
		短	保育実習[保1] (~11/14)	
3	火	大	社会福祉士国試対策講座[3・4回生]	
4	水	短	判定教授会(推薦・社会人I・外国人)	
5	木	会計監査(~11/6)		
		大	教務委員会	
7	土	大	推薦入試(一般、指定校、スポーツ)	
		大	精神保健福祉士国試対策講座[4回生]	
8	日	大	社会福祉士国試対策講座[4回生]	
9	月	大	入試・募集委員会	
10	火	大	判定教授会、選考教授会	
11	水	国際交流委員会、人間文化研究所フォーラム		
		カタリナ1種奨学生選考面接		
13	金	将来検討委員会		
		まつやまシニアカレッジ		
		就職委員会大学部会		
14	土	大	教育懇談会(個人面接)	
		社会福祉士国試対策講座[3・4回生]		
15	日	大	社会福祉士国試対策講座[4回生]	
17	火	奨学生選考委員会		
20	金	短	保育学科会議	
21	土	短	一般推薦入試	
		大	社会福祉士国試対策講座[3・4回生]	
22	日	大	社会福祉士国試対策講座[4回生]	
23	月	大	愛媛県受託事業(介護キャリアアップ支援研修)	
24	火	短	入試・募集委員会、判定教授会	
25	水	キリスト教研究所フォーラム		
		保健講話		
		奨学生選考委員会		
		大	経済支援学生選考委員会	
27	金	大	教職課程委員会	
29	日	大	愛媛県受託事業(介護キャリアアップ支援研修)	
30	月	学生生活委員会		

月	日	曜	区	行 事
12	1	火	大	FD委員会
	2	水	研究紀要編集委員会	
	3	木	図書委員会	
4	金	短	教授会	
	5	土	人間文化研究所公開講座	
6	日	大	社会福祉士国試対策講座[3・4回生]	
7	月	ボランティアセンター講演会		
8	火	慶北科学大学 提携協定		
9	水	人間文化研究所フォーラム		
	入試・募集委員会			
10	木	障害学生支援委員会		
11	金	教授会、人事委員会		
	短	保育学科会議		
12	土	大	人間健康福祉学部公開セミナー	
		社会福祉士国試対策講座[4回生]		
13	日	大	社会福祉士国試対策講座[3・4回生]	
15	火	大	精神保健福祉援助実習連絡会	
16	水	キリスト教研究所フォーラム		
18	金	学内クリスマス		
	大	入試・募集委員会、判定教授会		
19	土	大	社会福祉士国試対策講座[4回生]	
20	日	大	社会福祉士国試対策講座[3・4回生]	
21	月	冬季休業開始		
22	火	大	社会福祉士国試対策講座[3回生]	
	事務職員研修			
23	水	大	社会福祉士国試対策講座[3回生]	
1	7	木	大学評議会委員会	
	短	大学評議会委員会		
		将来検討委員会		
		冬季休業終了		
8	金	大	合同学科会議	
	短	保育学科会議		
9	土	大	社会福祉士国試対策講座[3・4回生]	
12	火	大	教授会、人事委員会	
13	水	人間文化研究所フォーラム		
14	木	短	教授会	
15	金	学内合同企業説明会		
18	月	短	幼稚園教育実習[保1] (~1/29)	
19	火	大	実習連絡会	
21	木	ボランティアセンター講演会		
22	金	短	保育学科臨時学科会議	
23	土	短	一般入試、社会人入試	
		保育学科判定会議		
		社会福祉士国試対策講座[3回生]		
25	月	短	判定委員会、判定教授会	
26	火	大	キャネット運営委員会	
		選考教授会		
27	水	キリスト教研究所フォーラム		
29	金	将来検討委員会		
30	土	大	一般入試	
2	1	月	大	入試・募集委員会、判定教授会
	2	火	キャネット運営委員会	
3	水	大	後学期終了	
4	木	後学期試験(~2/10)		
5	金	大	学園奨学生面談、卒業式予行練習	
8	月	大	就職委員会大学部会	
	短	学園奨学生面談		
		学科判定会議		
9	火	入試・募集委員会		
		キャネット運営委員会		
	短	判定委員会、判定教授会		
10	水	大	外国人留学生入試・編入学試験	
		入試・募集委員会		
		判定教授会		
		基礎演習担当教員会議		
		短	後学期授業終了	

月	日	曜	区	行 事
2	15	月	大	介護福祉実習[介2] (~3/10)、[介3] (~2/19)
	16	火		第9回「学長と学生との懇談会」
				ボランティアセンター運営委員会
				将来検討委員会
				キャネット運営委員会
17	水			人間文化研究所フォーラム
				短 保育学科実習懇談会(南予)
				大 社会福祉援助技術現場実習[経3] (~3/19)
18	木	大		精神保健福祉援助実習[社3] (~3/31)
19	金	大		教務委員会
				合同学科会議
				経済支援学生選考委員会
23	火			ボランティアセンター運営委員会
				キャネット運営委員会
				大 一般入試
				入試・募集委員会
				判定教授会
24	水	短		一般入試
				判定委員会、判定教授会
				保育学科、健康栄養学科卒業判定学科会議
25	木			キリスト教研究所フォーラム
		短		保育学科実習懇談会(東予)
26	金			研究紀要委員会
				人事委員会
				生涯学習推進委員会
		短		卒業判定教授会
3	2	火		キャネット運営委員会

月	日	曜	区	行 事
3	2	火	短	保育実習[保1] (~3/12)
	3	水		合同就職委員会
	4	木	大	教職課程委員会
	5	金		図書委員会
	6	土		後援会役員会
	9	火		キャネット運営委員会
			短	保育学科判定会議、判定委員会、判定教授会、保育学科会議
	10	水		将来検討委員会
			大	経済支援学生選考委員会
	11	木		UD研究会成果報告会
				FD委員会
15	月			卒業式
		短		保育学科臨時学科会議
				保育実習[保1] (~3/25)
16	火			キャネット運営委員会
17	水	大		一般入試
				人事委員会、入試・募集委員会、判定教授会
				臨時合同教授会
19	金			入試・募集委員会
21	日			春季休業(~3/31)
23	火			キャネット運営委員会
26	金			学生寮運営委員会
		大		奨学生選考委員会
				社会福祉実習委員会
29	月	大		人事委員会
30	火			キャネット運営委員会

◆◇ 平成 21 年度卒業生就職状況 ◇◆

平成 22 年 4 月 30 日現在

1. 業種別状況

【聖カタリナ大学】

業種／学科	就職者数		
	社会福祉	福祉経営	合計
社会 福祉	児童福祉	1	1
	老人福祉	45	16
	身体障害者福祉	5	1
	知的障害者福祉	10	3
	精神障害者福祉	1	1
	その他の社会福祉	1	1
医療施設	病院	13	3
企 業	建設・製造	2	3
	運輸・通信	2	2
	卸・小売	12	14
	金融	3	3
	教育・学習支援	1	1
	サービス・その他	15	10
公 務	国家・地方公務	3	2

就職者数	114	52	166	
	(県内)	(100)	(45)	(145)
	(県外)	(14)	(7)	(21)
卒業者内訳	就職未定者数	12	7	19
	就職希望者数	126	59	185
	就職率(%)	90.5	88.1	89.7
	進学	2	4	6
	家事・その他	16	2	18
	卒業者数	144	65	209

【聖カタリナ大学短期大学部】

業種／学科	就職者数		
	保育	健康栄養	合計
教育・学習支援	公立幼稚園		0
	私立幼稚園	30	30
	各種学校等		0
社会 福祉	公立保育所	4	4
	私立保育所・託児所	23	25
	児童福祉施設	1	1
	その他の施設	1	4
医療施設	一般病院・診療所	7	7
企 業	建設・製造	1	1
	運輸・通信		0
	卸・小売	5	6
	金融	2	4
	サービス・その他	1	13
公 務	国家・地方公務	2	2

就職者数	68	32	100	
	(県内)	(67)	(32)	(99)
	(県外)	(1)	(0)	(1)
卒業者内訳	就職未定者数	4	17	21
	就職希望者数	72	49	121
	就職率(%)	94.4	65.3	82.6
	進学	3	2	5
	家事・その他	8	4	12
	卒業者数	83	55	138

(6Pへ続く)

2. 職種別状況

【聖カタリナ大学】

職種／学科	就職者数		
	社会福祉	福祉経営	合計
医療ソーシャルワーカー(MSW)	3		3
精神科ソーシャルワーカー(PSW)	3		3
相談員	8		8
指導員(知的・身障・児童他)	17	3	20
介護福祉士・ケアワーカー	39	17	56
その他の福祉専門職	1		1
教員(高等学校)	1		1
事務	14	5	19
営業・販売	13	20	33
サービス他	15	7	22
合 計	114	52	166

【聖カタリナ大学短期大学部】

職種／学科	就職者数		
	保育	健康栄養	合計
幼稚園教諭	30		30
保育士	28		28
その他の教員			0
支援員・介護員等	1	1	2
栄養士(研究職含む)		11	11
事務	3	7	10
医療事務		4	4
販売	4	1	5
サービス他	2	8	10
合 計	68	32	100

◆◇ 平成 21 年度教授会議題（後期） ◇◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

H21.10.14 第7回

- AO入試(第2回)合格者選考について
- 編入学提携校推薦入試Ⅰ期合格者選考について
- 編入学国際提携校推薦入試合格者選考について

H21.11.10 第8回

- 特別推薦入試(指定校)合格者選考について
- スポーツ特別推薦入試合格者選考について
- 一般推薦入試合格者選考について
- 3年次編入学国際提携校及び入試日程の追加について
- 退学について
- 復籍について
- 履修科目の登録の特別許可について

H21.12.11 第9回

- 平成22年度学年について
- 学則の一部改正について
- FD委員会規程の一部改正について
- 学長賞の選考について

H21.12.18 第10回

- 編入学国際提携校推薦入試合格者選考について

H22.1.12 第11回

*報告・連絡事項のみ

H22.2.1 第12回

- 一般入試A日程合格者選考について

H22.2.10 第13回

- 大学入試センター試験利用入試前期の合格者選考について
- 外国人留学生特別入試合格者選考について
- 編入学一般入試Ⅱ期合格者選考について
- 教育懇談会実施内容の変更(案)について

H22.2.23 第14回

- 一般入試B日程の合格者選考について
- 卒業判定について

H22.3.17 第15回

- 一般入試C日程の合格者選考について
- 大学入試センター試験利用入試後期の合格者選考について
- 卒業の認定について
- 進級判定について
- 退学について
- 休学について
- 復籍について
- 長期履修学生について
- 転学科について

H22.3.17 臨時合同教授会

- 入試・募集委員会規程の一部改正について
- 教務委員会規程の一部改正について
- 学生生活委員会規程の一部改正について
- 障害学生支援委員会規程の廃止について
- 留学生委員会規程の廃止について
- 学生寮運営委員会規程の廃止について
- 就職委員会規程の一部改正について
- 国際交流委員会規程の一部改正について
- 生涯学習推進委員会規程の一部改正について
- 生涯学習推進委員会規程の一部改正について

7. 広報に関する規程の一部改正について

- 附属図書館委員会規程の一部改正について
- 研究紀要委員会規程の廃止について
- カタリナ・ボランティアセンター規程の一部改正について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

H21.10.13 第7回

- AO入試②合格者選考について

H21.11.14 第8回

- 指定校推薦入試合格者選考について
- 専願推薦入試合格者選考について
- スポーツ特別推薦入試合格者選考について
- 社会人特別入試(Ⅰ期)合格者選考について
- 退学について

H21.11.24 第9回

- 一般推薦入試合格者選考について

H21.12.4 第10回

- 学年について
- 学則の一部改正について
- 学長賞の選考について

H22.1.14 第11回

*報告・連絡事項のみ

H22.1.25 第12回

- 一般入試(A日程)合格者選考について
- 社会人特別入試(Ⅲ期)合格者選考について

H22.2.9 第13回

- 大学入試センター試験利用入試(前期)の合格者選考について

H22.2.24 第14回

- 一般入試(B日程)合格者選考について

H22.2.26 第15回

- 卒業判定について

2. 退学について

H22.3.9 第16回

- 大学入試センター試験利用入試(後期)の合格者選考について
- 健康栄養学科の廃止について
- 学則の一部改正について

4. 退学について

5. 除籍について

H22.3.17 臨時合同教授会

- 入試・募集委員会規程の一部改正について
- 教務委員会規程の一部改正について

3-1. 学生生活委員会規程の一部改正について

3-2. 障害学生支援委員会規程の廃止について

3-3. 留学生委員会規程の廃止について

3-4. 学生寮運営委員会規程の廃止について

4. 就職委員会規程の一部改正について

5. 國際交流委員会規程の一部改正について

6. 生涯学習推進委員会規程の一部改正について

7. 広報に関する規程の一部改正について

8-1. 附属図書館委員会規程の一部改正について

8-2. 研究紀要委員会規程の廃止について

9. カタリナ・ボランティアセンター規程の一部改正について

◆◇ 平成 21 年度学校法人聖カタリナ学園決算概要 ◇◆

■ 1. 資金収支決算

資金収支決算は、資金収入が39億26百万円(予算比+51百万円)、資金支出が41億57百万円(予算比△94百万円)となりました。結果、差額2億31百万円を前年度繰越支払資金から減算し、次年度繰越支払資金は、21億99百万円となりました。

■資金収支計算書：当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度の支払資金(現金&いつでも引き出すことができる預貯金)の収入及び支出の顛末を表します。

(注) 表中数字の単位は、「百万円」です。
百万円未満は四捨五入して記載しています。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	増 減 (b)-(a)
前年度繰越支払資金	2,430	2,430	—
当年度	資金 収 入	3,874	3,926
	資 金 支 出	4,251	4,157
	収支過不足	△ 377	△ 231
次年度繰越支払資金	2,054	2,199	146

■ 2. 消費収支決算

消費収支決算は、帰属収入が37億56百万円(予算比+27百万円)、基本金組入額が1億50百万円(予算比△5百万円)となり、その結果、消費収入は36億6百万円(予算比+32百万円)となりました。一方、消費支出は39億71百万円(予算比△60百万円)となり、当年度消費収支差額は△3億65百万円(予算比+92百万円)となりました。この結果、翌年度繰越消費支出超過額は、26億3百万円の予算に対し、決算では25億10百万円となりました。

■消費収支計算書：当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を表します。一般企業会計の「損益計算書」に当たります。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	増 減 (b)-(a)
①帰属収入	3,729	3,756	27
②基本金組入額(△)	154	150	△ 5
③消費収入 ①-②	3,574	3,606	32
④消費支出	4,031	3,971	△ 60
当年度消費収支差額 ③-④	△ 457	△ 365	92
前年度繰越消費支出 超過額	△ 2,146	△ 2,146	—
翌年度繰越消費支出 超過額	△ 2,603	△ 2,510	92

■ 3. 貸借対照表

貸借対照表は、本年度末(平成22年3月31日)において、資産の部156億55百万円、負債の部17億71百万円、基本金の部163億95百万円、消費収支差額の部における翌年度繰越消費支出超過額は25億10百万円となりました。

■貸借対照表：一定時点(本学は3月末現在)の資産及び負債、基本金、消費収支差額の内容及び在り高を明示し、財産の状態を表します。

* 参考 *****

学校法人は、一般事業法人と異なり、利益の稼得を目的にした組織ではありません。学生生徒や社会に対して、教育研究活動を通した人材育成という崇高な使命を負った社会性、公共性の高い存在です。しかしながら、「経営」という視点を欠き、過分な設備投資や場当たり的な運営を続けていると、収入と支出のバランスを失い、経営基盤の不健全化を招いてしまいます。こういった事態を防ぐために、経営の実態を会計面から適時、的確に把握できるよう、一定の会計処理ルールが定められています。それが、昭和46年に文部省令第18号として制定された「学校法人会計基準」です。学校法人は、この「学校法人会計基準」に従って計算書類を作成することが義務づけられています。*****

科 目	本年度末 (a)	前年度末 (b)	増 減 (a)-(b)
資産の部			
固定資産	13,041	13,240	△ 199
流動資産	2,614	2,697	△ 83
合 計	15,655	15,937	△ 282
負債の部			
固定負債	1,062	1,173	△ 111
流動負債	709	665	44
基本金の部			
基本金	16,395	16,245	149
消費収支差額の部			
翌年度繰越消費 支出超過額	△ 2,510	△ 2,146	△ 364
合 計	15,655	15,937	△ 282

◆◇ 新任教員紹介 ◇◆

①生年月日 ②最終学歴 ③現職 ④主要担当科目 ⑤就任年月日



矢島 伸浩
ヤジマ ノブヒロ

- ①1963年4月8日
②横浜国立大学大学院国際開発研究科博士課程後期単位取得
横浜市立大学大学院経営学研究科博士課程前期修了(経営学修士)
大阪市立大学大学院創造都市研究科博士課程前期修了(創造都市修士)
③聖カタリナ大学人間健康福祉学部教授
④マネジメント総論、マーケティング論
⑤平成22年4月1日



丸山 裕司
マルヤマ ユウジ

- ①1976年7月2日
②順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科健康教育学専攻修士課程(博士前期)課程修了(スポーツ健康科学修士)
③聖カタリナ大学人間健康福祉学部講師
④リハビリテーション論、運動生理学
⑤平成22年4月1日



大西 史晃
オオニシ フミアキ

- ①1981年8月31日
②University of Nebraska at Omaha, College of Education Health, Physical Education and Recreation major, Graduate Athletic Training program (Master of Athletic Training)
③聖カタリナ大学人間健康福祉学部助教
④健康とスポーツ、トレーニング論
⑤平成22年4月1日

◆◇ 研究室探訪 ◇◆

聖カタリナ大学短期大学部
准教授 五十嵐 雅子



保育学科棟1Fの研究室にようこそいらっしゃいました。この建物は本学の敷地内では奥の右手になります。この『学報』が出る頃には初夏の季節となり、新入生の皆さんも学内探検が完了していることでしょう。私は1982年から本学で音楽の科目を担当しています。現在の担当科目は「音楽実技I」、「音楽実技II」、「基礎音楽」ですが、これらの

科目は、「保育の基礎技能」といわれるジャンルに入っています。学生の皆さんのが本学に入学するまでの音楽習熟度には、人によって差があります。中学や高校でブラスやギター、合唱などの経験のある人、個人的に楽器を習ったことのある人もいる一方、高校では「音楽」を選択しなかった人もいます。本学入学前に楽器のお稽古などの経験の少なかった人は、保育者になるために必須の音楽科目に対し不安を感じることもあると思います。「音楽実技」の授業は、少人数のグループに分かれて各教員の研究室で行っています。現在の保育学科2年生は、入学前にピアノ初心者だった人も1年間で大きく成長し、5月末からの幼稚園での実習を目標としてパワーアップしています。保育者になりたいという希望をもって入学した皆さんが音楽に親しめるような授業をめざし、各自が初志貫徹できるよう、心から応援したいと思います。

聖カタリナ大学・短期大学部学報
〒799-2496 松山市北条660
TEL. 089-993-0702(代)
<http://www.catherine.ac.jp>

編集・発行
聖カタリナ大学
聖カタリナ大学短期大学部
広報委員会